

新風

しんぷう

Vol.23



Osamu Maekawa

前川おさむ後援会

事務所/〒861-1306 菊池市大琳寺198-1
TEL.0968-24-2171 FAX.0968-24-2855

E-mail:maekawa@mb.infobears.ne.jp

あなた まち
が ン ば れ 菊 池 ! 市 民 と 共 に 郷 土 づ く り

前川おさむ県政だより ※再生紙を使用しています。平成14年1月



謹賀新年

平成十四年の新春を心からお慶び申し上げます。

さて、平成十三年を振り返りますと、大変あわただしい一年でありました。三月市議選挙、六月市長選挙、七月参議院選挙、九月に狂牛病発生、十月からセーフガード本発動の要請活動、国は小泉総理の構造改革と景気対策、本県も財政健全化計画がスタート、市町村合併協議の活性化、川

また都市と地方との格差の中で社会資本整備が遅れている地方が切り捨てられてはならない等々、注意深く見守る必要があります。

辺川ダム問題、海外においては米国における同時多発テロ発生とアフガニスタン問題等々、二十一世紀のスタートは混迷の時代の幕開けを予感させるような一年でありました。今の時代が歴史の大きな転換期であることは間違いのないと思います。小泉さんの構造改革の必要性については、国の財政状況から見ても論を待たないと思えます。このまま不景気がひどくなると、その痛みに果たして国民生活が耐えられるのか、

県政において財政健全化計画がスタートし、これまでのような事業の取り組みは出来なくなり、地元住民の合意形成や、より便利な補助事業の活用、そしてなによりもその事業の重要性や緊急性を訴える、住民の熱意がこれまで以上に求められます。

幕開けを予感させるような一年でありました。今の時代が歴史の大きな転換期であることは間違いのないと思います。小泉さんの構造改革の必要性については、国の財政状況から見ても論を待たないと思えます。このまま不景気がひどくなると、その痛みに果たして国民生活が耐えられるのか、

市町村合併は膠着した市町村の財政を立て直し、真の地方自治確立の為に、国・県の主導で取り組まれております。やや押し付けの感が無きにしてもあらずですが平成十七年合併特例法の期限になっております。住民間の活発な議論が再生菊池の将来像を大きく展望することとなり、そのあり方が合併の成否につながると考えております。

この原稿を書いているたった今(平成十三年十二月二十二日)、セーフガードの本発動をしないという決定のファックスが届きました。農政委員長として本発動をお願いしてきた立場でありますので、この決定は大変残念であります。日中両国間で秩序ある貿易ルールが一日も早く構築されなければなりません。農産物輸入問題等、日本が食料自給率40%の国である事を認識し食料を確保する国民的合意を基本に、生産者・消費者相互の皆様の協力が不可欠であると考えます。

戸崎校区の校区公民館



▲農政委員長として。(農政懇談会)

が、平成十三年度中に着工できるようになります。この公民館は予算の関係で来年度以降、いつ着工できるかはつきりしていませんでしたが、国の補正予算の「木材産業経営革新公共施設等整備事業」の採択をいただき、従来計画よりも菊池市の負担を軽減し、しかも早く着工できるようになりました。これまで菊池市では国の補正予算にあまり対応していませんでした。国・県・市ともに、厳しい財政状況の中でも、的確な情報収集力と、すばやい対応があれば、まだまだチャンスがあるという好例です。御協力をいただきました松岡利勝代議士、福村三男市長に心より感謝申し上げます。

今年、どんな一年になるのか、予測不能ではありますがどんな状況であつても、市民の代弁者としてしっかりと県政で頑張っていきたいと思えます。皆様の御指導、御鞭撻をよろしく御願ひ致しますとともに皆様にとりまして輝かしい一年になりますことを心より御祈念申し上げます。

前川 收



▲狂牛病対策で。(熊本県畜産流通センター)

みんなが考える「市町村合併」について。

市町村合併はわたしたちの課題です。行政だけにまかせるのではなく、みんなでその成否について議論してください。皆様の議論の土台となる、菊池市の資料です。

1、なぜ合併が必要なの？

- ① 住民の日常生活圏の拡大。
- ② 行政ニーズの多様化。
- ③ 地方分権の推進。
- ④ 人口の少子・高齢化の進行。
- ⑤ 国・地方の財政危機等市町村を取り巻く環境の変化。

2、合併のメリットは？

① 広域的な観点からの地域づくりや、重点的な投資による環境問題、観光振興などが可能になる。

② 住民サービスの向上

ア、従来の市町村では十分確保できなかった専門職（社会福祉士、保健婦、理学療法士、土木技師、建築技師等）の増強ができる。
イ、体育館、図書館、文化ホール、保育所等を広域で活用できる。

ウ、行政サービス区域が広域化することで、住民票など窓口サービスが勤務地や買い物先などの近くで利用できる。

③ 行財政の効率化と基盤強化

ア、三役や議員、必致委員会や審議会の総数が減少し、経費削減できる。
イ、行政事務の効率化（経費節減）
ウ、公共施設（スポーツ、文化施設等）の効

率的配置、類似施設の重複をなくし、重点投資が可能。

3、合併のデメリットは？

- ① 合併後、市町村内の中心部と周辺部で地域格差が生じたり、歴史や文化への愛着や地域への連帯感が薄れる懸念がある。
- ② 住民の意見の施策への反映や、きめ細かなサービスができにくくなる懸念がある。

以上は合併の一般論です。すべてが菊池にあてはまるものではないと思います。また平成17年3月31日までに合併すれば国から特別な財政支援を受けることができます。

4、菊池市が合併すればどう変わるのか？

現在の菊池市と菊池郡市の全市町村で合併した場合の比較を表にまとめてみました。あくまで参考数値です。合併しない事も含めて色々なパターンが検討されています。

菊池都市総合併の場合の主要数値	菊池市	菊池地域新市
人口(人)	27,343	158,412
高齢者人口(人)	6,657	29,243
高齢化率(%)	24.3	18.4
面積(km ²)	182.6	466.49
総生産額(百万円)	84,980	624,261
議員定数 (現在の8市町村の定数合計は136人)	20	34
職員数 (類似市では1,042人)	308	1,335
歳入決算(百万円)	12,594	64,330
歳入決算人口一人当(円)	460,593	406,093
歳出決算(百万円)	12,192	60,882
歳出決算人口一人当(円)	445,891	384,327
道路改良率(%)	74.5	63.3
上水道普及率(%)	87	87.7
下水道普及率(%)	46.4	54.5

前川後援会の第2回 夏祭り

三浦参議も飛び入り参加で盛大に開催。本年も第3回夏祭りを8月1日で予定を致しております。どうぞ、ご家族、ご近所お誘い合わせでご参加下さい。



▲三浦一水参議院議員と。



リフレッシュアクション



▲始球式。

雨の為、延びのびになった秋のグラウンドゴルフ大会が、11月10日に老若男女総勢400名の参加で、たのしく開催できました。2002年は春は3月、秋は11月を予定致しております。どうぞご期待下さい。

熊本県財政健全化計画がスタート

熊本県は厳しい財政状況を打開するために、財政健全化計画を策定、平成13年から平成17年まで5ヶ年間で財政健全化に取り組むことになっています。特に平成15年までは集中期間として投資的経費(道路、河川、上下水道、農業基盤、公共建築物等)は補助金で-20%、単県分で-58%(新幹線分を除く)まで削減される予定になっております。

中期財政見通し(概算)

(平成13年2月)

〔平成13年度～平成17年度〕

【歳出】

(単位:億円、%)

	12年度	13年度	伸率	14年度	伸率	15年度	伸率	16年度	伸率	17年度	伸率
1 義務的経費	3,943	3,964	0.5	4,047	2.1	4,147	2.5	4,189	1.0	4,236	1.1
人件費	2,445	2,419	△1.1	2,435	0.7	2,508	3.0	2,568	2.4	2,628	2.3
公債費	1,193	1,236	3.6	1,290	4.4	1,305	1.2	1,275	△2.3	1,249	△2.0
扶助費	305	309	1.3	322	4.2	334	3.7	346	3.6	359	3.8
2 投資的経費	2,513	2,239	△10.9	2,164	△3.3	2,074	△4.2	2,074	0.0	2,074	0.0
3 その他の経費	1,960	1,875	△4.3	1,842	△1.8	1,840	△0.1	1,908	3.7	1,934	1.4
計 (A)	8,416	8,078	△4.0	8,053	△0.3	8,061	0.1	8,171	1.4	8,244	0.9

(注)平成16年度及び平成17年度の歳出削減額は、平成15年度の削減額と同額を仮置きしている。

【歳入】

(単位:億円、%)

	12年度	13年度	伸率	14年度	伸率	15年度	伸率	16年度	伸率	17年度	伸率
1 県税、地方交付税等	4,406	4,563	3.6	4,611	1.1	4,685	1.6	4,794	2.3	4,905	2.3
2 県債	1,035	938	△9.4	905	△3.5	869	△4.0	869	0.0	869	0.0
3 国庫支出金その他	2,717	2,443	△10.1	2,432	△0.5	2,417	△0.6	2,463	1.9	2,463	0.0
計 (B)	8,158	7,944	△2.6	7,948	0.1	7,971	0.3	8,126	1.9	8,237	1.4

要調整額(A) - (B)	258	134		105		90		45		7	
財政健全化策を講じる前の要調整額		350		382		384		380		314	

中期財政見通し(平成13年2月)

(単位:億円、%)

	12年度	13年度	伸率	14年度	伸率	15年度	伸率	16年度	伸率	17年度	伸率	
投資的経費	普建補助	1,258	1,103	△12.3	1,103	0.0	1,103	0.0	1,103	0.0	1,103	0.0
	普建単独	997	920	△7.7	836	△9.1	746	△10.8	746	0.0	746	0.0
	その他	259	215	△17.0	225	4.7	225	0.0	225	0.0	225	0.0
	計	2,513	2,239	△10.9	2,164	△3.3	2,074	△4.2	2,074	0.0	2,074	0.0

※その他は、直轄事業負担金、災害復旧事業

上記の表で示すとおり、財政健全化計画に取り組まなければ平成13年度以降300億円以上の歳入不足になり、予算が組めなくなります。その為、歳出を減らさなければなりません。まず最初に削減されるのが投資的経費であります。具体的には10億円以上の大規模公共事業について事業の優先度や重点化について検討を行い、また10億円以上の建物については原則凍結されます。我々の日常生活に必要な社会基盤整備(道路・河川・上下水道・農業基盤等)にも、影響がでる可能性が強く、これまで以上に事業の必要性についての説得力や地元の協力が必要になります。

国産牛肉を安心してお召し上がり下さい!

市民の皆様、菊池は県内随一の畜産地帯ですが、狂牛病(BSE)問題で今、畜産が危機に瀕しています。狂牛病の感染を防げなかった、政府の対応については怒り心頭ですが、現在は世界に例を見ない全頭検査を行っておりますので、皆様に届く国産牛肉はすべて安全です。菊池の産業育成の為にも安心して国産牛を召し上がり下さい。

狂牛病(BSE)についての なるほど Q&A

Q なぜ、牛肉や牛乳・乳製品は安全といわれるのですか?

A BSEは、もともと牛が持っているプリオンと呼ばれるたんぱく質が異常になって起こる病気です。英国でのさまざまな試験、研究の結果、異常プリオンは、脳、脊髄、眼及び小腸の最後の部分(特定危険部位)以外では発見されませんでした。こうした結果から、牛肉や牛乳・乳製品はOIE(国際獣疫事務局)の基準でも安全です。

Q 人にも感染すると聞きましたが、大丈夫ですか?

A さまざまな試験や調査の結果、BSEが人の海綿状脳症の一つ(変異型クロイツフェルト・ヤコブ病)と関連があるのではないかとされています。これまでに18万頭のBSEの発生が確認されている英国では、100名余りの変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の発症が確認されていますが、これは危険度の高い牛の脳などを食べていたことが原因ではないかと考えられています。なお、我が国では、これまで、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病になった人はみつかっていません。今回、安全が確認された牛の肉だけが流通するしくみができたので、さらに安心していただけます。

Q 検査はどのような方法で行うのですか?

A 新しい検査のしくみでは、まず、BSEにかかっている牛を見逃さないようにするため、感度の高いエライザ法という検査法で検査されます。この方法では、BSEにかかっていない牛でも陽性となることがあるため、陽性の結果がでたときには、さらに正確性の高い検査を実施しBSEにかかっているかどうか確認することとしています。

Q 牛を原料とした加工食品の安全確認はどのように行われているのですか?

A 加工食品については、原材料に特定危険部位の使用・混入がないか点検を行い、その安全性を確保するための製造・加工の方法について確認し、特定危険部位の使用・混入があった場合には、原材料の変更、該当する食品の販売の中止や回収を行うよう製造業者や加工業者を指導しています。

また、保健所が製造業者や加工業者について立ち入り調査を行い、危険部位の混入・使用の有無について確認するとともに、問題があれば適切に指導を行っています。

これらの結果は、厚生労働省のホームページですべて公開しています。

Q 食生活で心配することはありますか?

A 牛肉はもちろん、牛を原料とした加工食品についても安全性を確認して流通させるしくみが出来上りました。安心して今までどおりの食生活をお送り下さい。

※さらに詳しい情報は、厚生労働省、農林水産省のホームページをご覧ください。

厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp>)

農林水産省 (<http://www.maff.go.jp>)

各地域におじゃまして、県や菊池市が抱える問題や政策について御報告し、地元の問題点や菊池市の将来像などについて皆様からご意見をお聞かせいただく機会を作る目的で、県政懇談会を開催してまいりました。

これからも皆様からのご意見を伺い、諸問題を解決し、暮らしやすい菊池市をつくることを私の政治活動の基本としていきます。少人数でも構いませんので、お気軽にご連絡ください。

ふれあいトーク 前川収県政懇談会



前川おさむの活動についてご意見を、お寄せ下さい。